

横浜国立大学校友会 会報

vol.01 創刊号



# プ年度の開催予定

# 校友会活動のご紹介

4月から全力で新入生、在学生へのサポート活動をスタート。 大学での学び方から、グローバルな視野の形成、そしてキャリア支援まで。 錚々たるゲストスピーカーが居並ぶ今後の活動に、さらに注目を!

# YNU校友会設立記念講演会 「時代は変わる」シリーズをお届けします

劇的に変化するこの時代に10年、20年先の未来の世界を鳥瞰し、 将来の進路や人生を考える際の参考になることを願って企画しました。ぜひご参加ください。 (2年生以上の在学生、保護者の皆さまもご参加いただけます)

#### 第4回「日本の歩むべき道」

講師:小泉純一郎〈元内閣総理大臣〉 平成27年10月23日(金)

16:30 - 18:00

場所:横浜国立大学教育文化ホール



#### 第5回 「時代の変化と流通小売業」

講師:鈴木敏文 〈セブン&アイ・ホールディングス最高経営責任者〉 平成27年11月11日(水)

16:30 - 18:00

場所:横浜国立大学教育文化ホール



#### 第6回「どう変わる住生活 ~過去から現在に至る住居の変遷と、 2050年の住居の展望~|

講師:矢野龍〈住友林業(株)代表取締役会長〉

16:30 - 18:00

平成27年12月2日(水)

場所:横浜国立大学教育文化ホール



#### 第7回「どう変わる 日本のモノづくり」

講師:永守重信 〈日本電産(株)会長兼社長CEO〉 平成28年1月14日(木)

16:30 - 18:00

場所:横浜国立大学教育文化ホール



#### 第8回「10年、20年先を見据えて わが社が必要な人材」(仮)

講師:4名の業界代表人事担当役員を予定 平成28年2月10日(水) 16:30-18:00

場所:横浜国立大学教育文化ホール

#### ※ 無料で聴講いただけます。

※ 第4回以外は事前の予約、申込みは必要ありません。 直接開催場所(横浜国立大学教育文化ホール)へお越し ください。(第4回の申込方法はホームページにて告知します)

#### これまでの開催報告

第1回 「時代は変わるシリーズ ― 変わる世界の枠組み」

第2回 「どう変わる自動車産業とエネルギー」

第3回 「どう変わる個人の消費と生活スタイル」

第1回目は杉田会長から、シリーズ講演会の概要と現在の世界情勢について、第2回目は西條都夫氏(日本経済新聞社)から、自動車とエネルギー産業の最新動向、今後の展望などについて、第3回目は大西洋氏(三越伊勢丹社長)と中村直文氏(日本経済新聞社)から、個人の消費と生活スタイル、小売業界の今後の対応についてのお話がありました。

## **■** まなび座 I・校友会リレートーク 正課科目として実現!

## **卒業生と在校生が車座になって学ぶ**

教養教育科目「まなび座 I」(大学教育総合センター 市村光之准教授、2 単位、全学部の新入生対象)が、校友会の協力により4月に開講しました。高校までの受動的な学びの場から能動的な学びの場への転換にあたり、主体的に学業に取り組む意識を早期に形成し、自律的に将来を構想する土台創りが狙いです。

「卒業生と在校生が車座になって、胸 襟を開いて大学で学ぶ意味や人生を語 り合う場を提供したい」。担当教員の思 いを、校友会がそのネットワークを活用 して実現しました。授業では、毎回2 名の卒業生がゲスト講師として登壇し、 学生時代の経験や仕事と学業の結び つきなどを語り、少人数グループに分かれて履修生とディスカッションをします。 校友会より紹介した 20 代から30代の若手・中堅 OB/OG 総勢16名が「まなび」のバトンを繋いでいます。

「正解のある問題しか解けない人はコンピュータに取って代わられる。正解のない課題に挑むのが人間の価値」、「小さなことでもやりたいと思ったらとりあえず挑戦してみること」、「大切なのはどこの会社に入るかではなく、何がしたいか」。卒業生から厳しい言葉も飛び交いますが、学生たちは目を輝かせて聴いています。

「社会人の実体験に触れること、直接 対話することが、1年生にとって大いなる 刺激になっています。まなび座が、学生たちに ALL YNU 意識を醸成するきっかけになればと願っています」(市村准教授)。





グループ・ディスカッション風景: 卒業生が履修生の輪に入り、ホンネで語り合っています

## グローバル人材育成の新科目 平成28年度開講を目指す

ビジネスの国際化に伴い、グローバルに活躍できる人材の育成が産業界から求められています。校友会は大学教育総合センターと協力し、「まなび座」に続く第二弾のキャリア教育科目を企画中です。

海外対応のカギとなる異文化理解やコミュニケーションスキルの向上を目指す科目です。校友会の多彩な卒業生人脈から、海外ビジネス経験者をゲスト講師として迎え、 来年度開講の準備を進めています。

### 清陵際での

## 新入生歓迎テントの出展

5月24日(日)の清陵祭にて校友会テントを出展し、新入生歓迎イベントを行いました。当日は天気にも恵まれ、新入生をはじめ、まだ校友会について馴染みのない2年生以上の方々にも多数お立ち寄りいただき、抽選会やプレゼントにて活況を呈しました。校友会では、横浜国立大学の校友の輪を広めるべく、常盤祭などでもこのようなイベントを企画しています。ぜひお立ち寄りください。



## ■ 留学・国際交流イベント ■ 「Go Global YNU」の開催

7月3日(金)16:30より、経営学部講義棟において「Go Global YNU」と題した在学生の留学・国際交流を支援する説明会を開催しました。当日は長谷部学長から挨拶の後、在学生や卒業生の体験談、大学担当教員による大学の交換留学生制度、内閣府担当者による国際交流事業、文部科学省担当者による留学奨学金制度について説明があり、両担当者からはYNUの熱い取組姿勢が評価されました。説明会終了後、れんが館に場所を移し、講師の方を交えて懇親会が行われ、学生から熱心な質問が飛び交い、留学に前向きな学生にとって有意義な時間となりました。



説明会の様子

# わたしたちに、お任せください!

グローバル教育、キャリア支援など、未来を見据え 校友会と一体となって精一杯の教育をおこないます。



**HASEBE Yuichi** 横浜国立大学 学長 横浜国立大学校友会 筆頭副会長

1954年生まれ。1981年-橋大学大学院経 済学研究科修士課程修了。1984年横浜国立 大学経済学部助教授、1996年経済学部教 授、2004年経済学部長、2011年国際社会 科学研究科長を経て、2015年4月より現職。

## ALL YNUの力で学生支援を強化します

## 學長 長谷部勇一

成27年4月、校友会が発足して最 初の新入牛を迎え、新たな事業が 開始されました。従来からの各学部同窓 会活動は専門性の高い分野における卒業 生との縦の交流が中心でしたが、校友会は 在学生中心に、学部の枠を超えた横の交 流や国際的な交流を重視しています。

4月以降新入生向けにキャリア意識を醸 成するための「設立記念講演会」が始まり、 講義として新しく「まなび座I・校友会リレー トーク」が開講され、さらには政府が推 進するトビタテ!留学JAPANなど留学や 国際交流についての説明会 「Go Global YNU」も開催。様々な分野で活躍してい る個性と熱意溢れる卒業生、特に30歳前 後の若い世代の卒業生との連携が進み、 校友会発足の効果であると感じています。

また、今後は海外校友会支部の活動も 始める予定で、海外留学、短期国際交流 や国際インターンシップなど海外の卒業生 のネットワーク (18カ国22海外支部)を活 用して、学生の皆さんが安全でより効果の ある海外経験を積めるようにしていきます。 大学としても学生支援を強化し、校友会 の活動をさらに活発化していきたいと思い ますので、今後ともご協力をお願いします。

## 校友会は全学的結束で大学支援の成果を

## 校友会会長杉田亮毅

口減少と激しさを増す産業界の国 際競争の中で、大学は厳しい生き 残り競争にさらされています。文部科学省 は、グローバル人材の育成を前面に押し出 し、それに沿った大学への予算を増やし、 不十分な大学への予算をカット。国立大学 を再編淘汰に追い込もうとしています。

我がYNUは昨年秋、政府が予算の重点 投下対象に選んだ 、スーパーグローバル、 校の指定から残念ながら外れました。こ れは中長期的にYNUの社会的評価にボ ディブローを与える危険があります。こ のハンデを跳ね返すには、大学当局の思 い切った改革努力と、これに対する卒業 生の、学部を超えた全学的支援が急務と

思われます。YNU校友会は、そんな状況 の中で昨年末設立され、発足しました。

校友会は当面、大学当局、現役学生と 卒業生間の交流強化、現役学生の就職支 援などに努めます。焦眉の急は、グローバ ル化、新技術の産学共同開発など、大学の 改革努力に、我々卒業生がどんな支援が 出来るかです。

校友会会長として今後、各同窓会幹部 の皆さんと話し合いを開始したいと思っ ています。学部ごとではなく、全学的な 結束で校友会が成果を出せるかどうか。 この点も大学改革の一環として社会的評 価を受ける。そんな責任があると感じ、皆 さまのご協力をお願いしたいと思います。



SUGITA Ryoki

横浜国立大学校友会 会長 公益社団法人日本経済研究センター 特別顧問 株式会社日本経済新聞社 顧問

1937年長崎生まれ。1961年横浜国立大学 経済学部卒業、日本経済新聞社に入社。同 社の代表取締役社長、会長などを歴任。

## 第1回 大学祭実行委員会

## 大学祭を支える熱き裏方たち

今年で66年目を迎える大学祭。秋の常盤祭はホームカミングデーとの同日開催が決定。はたしてどのような姿を見せるのか。(次頁も参照)

大学祭実行委員長 藤原一也(教育人間科学部3年)

横浜国立大学の大学祭は、1949年の第1回学生祭より2015年で66年目を迎える伝統的な行事です。しかし、なぜ同一キャンパスで年に2回の大学祭(清陵祭と常盤祭)があるのか不思議に思われている方も多いのではないでしょうか。これは本学が複数キャンパスから統合されたことに由来し、別々におこなわれていたものが今も継続・並存しているため、このような形になっているのです。

大学祭では参加団体による展示や発表、模擬店の出店などのほか、実行委員会による子供向けブースや、野外ステージもあります。これらに加え、秋の常盤祭では「Miss YNU Contest」や「Mr. YNU Contest」もおこなわれる予定です。ここでは容姿だけでなく、日

頃の学生生活の中で身につけた魅力を 当日のステージで発揮していただき、自 分を変えるきっかけをつかんでもらえれ ばと思います。このように豊富な企画で 来場者の方を迎えています。

大学祭実行委員会は 1,2 年生が中心となって運営しています。活動の山場は大学祭直前の 1 カ月ですが、年間を通して週に 1 度実行委員会会議をおこない、ほとんど休みなく活動しています。

大学祭を作り上げる過程では、多くの意見の衝突が起こります。来場者への配慮を一番に考える者もいれば、在校生の盛り上がりを重視する者もいます。学生だからこそ求める理想と現実とのジレンマを、ひしひしと感じる場面も多々あります。しかし、真剣に意見をぶ

#### 大学祭実行委員会 基本データ

目的: 年に2回の大学祭(清陵祭と常盤祭)運営

のための組織

人数:約160人(およそ男女半々)

来歴:1949年の第1回学生祭より2015年で 66年目を迎える(組織名称は変わっている)

活動: 週1度の実行委員会会議を基本とし大学

祭の運営をおこなう

つけ合い、各々が最善の結果を目指していくことこそが、この組織の一番の面白味だと感じています。だからこそやり遂げた時の達成感は格別です。

さて、来る2015年秋の常盤祭は、ホームカミングデー (HCD) と同日の10月31日、および11月1日、2日に開催されます。今までこのような試みはおこなっていなかったのですが、HCD実行委員長の熱い言葉と心意気に押され、大学に関わるすべての人が楽しめるような大学祭を作るために、協力させていただくこととなりました。卒業生、また教職員の方々とともに、新しい大学祭を目指したいと思います。

皆さまのご参加を委員一同、心よりお 待ちしております。(次頁も参照)



# 第10回横浜国立大学ホームカミングデー

= グローバル時代における学風の発展と継承 =

今年度から 大学祭(常盤祭)と同日開催!

# 平成27年10月31日(土) 是非ご参加を

校友会総会(右ページ下段参照)後に、ホームカミングデー(HCD)としてメイン講演会をはじめ各種催しを開催します。 在学生は大学祭と合わせ、また保護者、卒業生の皆さまも横浜国立大学をじっくり体験していただくためにも

ぜひご参加下さい。 (各種催しの詳細は右ホームページをご覧下さい。)



メイン講演会 11:00~12:30 教育文化ホール

メイン講演者 三井物産(株)会長 飯島彰己氏(1974年経営学部卒)

劇的に変化する今、資源の枯渇、地球環境、世界の地政学上の問題、10年、20年先を見据えてグローバル化時代の企業戦略、商社の役割、三井物産の経営理念・戦略、「人の三井」と言われてきた特に人材の育成について、企業(三井物産)にとって必要な人材の要件などを伺います。



#### IIJIMA Masami

三井物産<mark>株式会社 代表取締役会長</mark> 日本経済団体連合会 副会長

1974年横浜国立大学経営学部卒業と同時に、三井物産(株)入社。鉄鋼、金属、エネルギー分野などを担当、アフリカを含め世界各国の勤務を経験。2009年4月代表取締役社長、2015年4月代表取締役会長・日本経済団体連合会副会長ほか、多くの公職兼務。

第10回横浜国立大学ホームカミングデーホームページ



▶ http://homecoming.ynu.ac.jp

## 平成27年8月より受付開始 第2回横浜国立大学アプリコンテスト

昨年大学主催で始まった「横浜国立大学アプリコンテスト(YAC)」ですが、今年より校友会主催で規模を拡大し、第2回を開催します。

今回は「地域の生活を豊かにするアプリ」をテーマに、 学生から作品やアイディアを募集します。本コンテストを 通じて在学生と IT 産業の第一線で活躍する卒業生の交 流の機会を創出し、次世代の IT サービスに求められる人 材やアイディアを発掘します。

また開発部門と企画部門の2部門を設け、最優秀賞

受賞者にはそれぞれ 30 万円、10 万円の賞金が授与されます。国大生、もしくは国大生を含むチームからの応募を8 月より受付開始、11 月 28 日 (土) に横浜国立大学メディアホールにて最終選考会を実施します。

アプリコンテスト事務局では個人や企業の皆さまから のご寄附も募集いたします。本コンテストに関する詳し いご案内は、下記ホームページをご参照ください。皆さ まのご応募・ご寄附をお待ちしています。

▶ http://ynu.yokohama/

## 平成27年11月13日(金) 開催予定 社会人の先輩と留学生・日本人学生との交流会

YNUは多くの国からの多数の留学生が在籍しているにもかかわらず、在学生はせっかくの交流のチャンスをまだ活かしきれてない状況です。校友会の主催、学生の発案による本イベントは、留学生と日本人が相互に文化・

生活・考え方を知り、また日本の主要業種に勤務の先輩社会人が参加する、気楽に話のできる第1回目の交流会です。参加方法は追って校友会ホームページにてご案内します。

#### 平成26年度活動報告·決算

昨年10月に発足した横浜国立大学校友会は、平成26年度において本格的活動の準備期間として、下記の活動を行いました。

- ① 理事会(3回)・評議員会(2回)の開催
- ② 会則・諸規程の整備
- ③ 各種イベント・講義の企画
- ④ ホームページの立ち上げ
- ⑤ 会員システムの立ち上げ
- ⑥ 会員証の作成
- ⑦ 案内パンフレット等作成
- ⑧ 関連プロジェクトの立ち上げ

また、平成26年度決算は右表のとおり、収入 は会費収入(3月期分のみ)で、支出は会費収入 に係る振込手数料の支出がありました。

本決算は5月13日(水)に校友会監事4名による監査を受け、上記活動と共に「適切」であるとの報告を受け、5月28日(木)に開催された理事会及び評議員会において決議されました。

平成26年度横浜国立大学校友会決算書(平成26年10月25日~平成27年3月31日)

	7.44.47	V 44-4-	177.19
科目	予算額	決算額	増減
【収入の部】			
基本財産運用収入	/		_
・基本財産利息収入	/	0	0
会費収入	/		
・会員収入	/		
会費収入	/	8,660,000	8,660,000
雑収入	/		
<ul><li>・寄附収入</li></ul>	/	0	0
<ul><li>・受取利息収入</li></ul>	/	0	0
· 会報広告収入	/	0	0
・その他雑収入	/	0	0
当期収入合計(A)	/	8,660,000	8,660,000
前期繰越金	/	0	0
収入合計 (B)	0	8,660,000	8,660,000
【支出の部】			
事業費			
・新入生向け事業	0	0	0
・キャリア教育の支援	0	0	0
・真のグローバル人材育成の支援	0	0	0
・学生の諸活動に対する支援	0	0	0
・交流会等の支援	0	0	0
・海外交流会、地域交流会、異業種交流会等の支援	0	0	0
・校友会会員どうしの交流	0	0	0
・会報発行事業	0	0	0
・会員管理等事業 ・その他事業	0	0	0
	0	U	0
管理費	_	_	_
・会議費	0	0	0
・備品費	0	0	0
・その他管理費	0	110,150	110,150
当期支出合計 (C)	0	110,150	110,150
当期収支差額(A)-(C)	0	8,549,850	8,549,850
次期繰越金(B) -(C)	0	8,549,850	8,549,850

(単位:円)

## ご寄附のお願い

校友会の活動は会員皆さまからの会費により成り立っていますが、会費とは別にご寄附を募っています。

寄附金は校友会の活動を活性化させ、将来に向けて校友会運営の大切な資金となります。平成27年度予算・事業計画はホームページで公開しておりますが、本事業計画を進めていくためには、会費収入に加え、ご寄附も貴重な財源となります。皆さまからのご寄附により、横浜国立大学の校友の輪がひろがり、ひいては横浜国立大学の社会への情報発信力が高まることにつながっていきます。

ご寄附の方法、その他についての詳細は、校友会ホームページ の該当ページをご覧ください。

http://koyukai.ynu.ac.jp/donation/

## ご寄附いただいた皆さま

横浜国立大学校友会へのご寄附に対 しまして厚く御礼申し上げます。引き続 き、校友会へのご支援のほどよろしくお 願いいたします。

#### 平成27年度寄附者御芳名

(4-7月分/寄附金2万円以上で掲載可の方 のみ・ご寄附順)

 ・ 岡部知行様 (ニコン株式会社)
 2 万円

 ・北澤尚徳様
 2 万円

 ・ 小口泰秀様 (キャッスル)
 2 万円

 ・ 伊事洗大枯様 (株式会社日本枝芸 代表取締役社長)
 2 万円

## 平成27年度横浜国立大学校友会総会の開催のお知らせ

来る2015年10月31日 (土) 10:00~10:30、教育文化ホール大集会室にて、第1回横浜国立大学校友会総会を開催致します。(左ページにご案内の第10回ホームカミングデーと同日開催)

当日は、会員はもちろんのこと、在学生の保護者の皆さまもご参加いただけます。

議事内容は、①上半期活動報告、②上半期収支報告、③下半期活動予定、を予定しています。横浜国立大学校友会について、会員の皆さまから広くご意見をいただける貴重な場となりますので、ご都合のつく方はぜひご参加下さい。

#### 横浜国立大学校友会 ホームページのご案内



横浜国立大学校友会では、会員登録の有無にかかわらず、会員の皆さま方へ校友会の各種活動、ご案内をお知らせするためにホームページを開設しています。総会・理事会・評議員会の議事掲載をはじめイベント案内なども行っておりますので、下記アドレスをぜひご覧ください。(今後発行する本会報についても PDFで掲載していく予定です)

▶ http://koyukai.ynu.ac.jp

#### 横浜国立大学校友会 会員サイト 登録のお願い



会員サイトへのアクセスは、 校友会ホームページのグローバルメニュー 「会員サイト」→ 右メニュー「サイトへのリンク」をクリック 横浜国立大学校友会では、会員の方々に会員システムへのご登録をお勧めしています。会員システムにご登録いただくことで、会員間での会員検索・連絡、校友会からの各種イベントの案内を受け取ることが可能となります。これから横浜国立大学校友会、ひいては横浜国立大学を盛り上げていくためにも在学生、卒業生の皆さまのご登録をお待ちしています。

#### ▶ https://koyukai.ynu.jp

※既に会費をお支払いになられている会員 (新1年生) につきましては、校友会事務局で登録を済ませております。会費お支払いの際、払込票に記載いただいたメールアドレスに ID・パスワードが届いていない新入生会員の方については、お手数ですが、下記校友会事務局まで至急お問い合わせください。また、登録内容に変更が生じた場合、随時会員サイトにログインいただき、登録内容の修正を行ってください。

#### 横浜国立大学校友会 会員証について



横浜国立大学校友会事務局では、現在会員証を配布中です。 会費をお支払い済みの会員(在学生)でまだ受け取られていない方 は、下記地図の事務局まで学生証持参の上、お越しくださるよ うお願いします。

Yokohama National University Alumni Association

#### 横浜国立大学校友会 会報 ALL YNU 第1号

2015年8月24日発行

本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます。

●横浜国立大学校友会や本会報についてのお問い合わせは下記までお願いします。

編集・発行 横浜国立大学校友会

連絡先 横浜国立大学校友会 事務局

TEL:045-339-3177 FAX:045-339-3178

e-mail:koyukai@ynu.ac.jp

#### ▶ http://koyukai.ynu.ac.jp

表紙写真:横浜市開港記念会館(撮影:川添裕)

校友会事務局は、本部棟と国大中央バス停(横浜駅行)の 間の道を入った、左手の建物1階にあります。

